

令和8年度「地理探究」シラバス

科目名		必修・選択	単位数	類型
地理探究		選択	3	共通
教科書 副教材等	教科書：『新詳地理探求』（帝国書院） 『新詳高等地図』（帝国書院）【継続使用】 副教材：『新詳地理資料 COMPLETE 2025』（帝国書院）【継続使用】 『ニューコンパスノート地理 2025』（東京法令出版）【継続使用】			

1 学習目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 学習概要

- ・現代世界の地理的諸課題のうち、人口問題、都市・居住問題、民族・領土問題を取り上げ、その規則性や傾向性、そして、それらの要因を系統地理的に考察していく。
- ・現代世界の系統地理的な特徴を、視点を変えて地域的な枠組みから検討し、地域の変容や構造について歴史的背景を踏まえて多面的・多角的に考察し、地域的特色や地域の課題を考えていく。

3 学習方法

（1）授業への取組

- ・覚えるべき事項はもちろん覚えなければならない。しかし、暗記することが地理を学ぶ本質ではない。暗記一辺倒ではなく、その事象が起こるしくみをよく理解した上で覚えることが肝要である。常に、「なぜ？どうして？」と追究する姿勢で臨もう。
- ・わからないときは周りの生徒や担当教員に積極的に質問をしよう。不明な部分をそのままにしないで、一つ一つ解決していくことを意識しよう。

（2）家庭学習

- ・授業前に教科書を一読しておく、授業内容がよく理解できる。
- ・日頃からテレビのニュース番組に関心を持ち、取り上げられた場所などを地図帳で調べる。

4 評価について

（1）評価方法

評価方法以下の通りです。

「知識・技能（①）」：定期試験・小テスト・リポートノートなど

「思考・判断・表現（②）」：定期考査・授業プリント・グループでの話し合いなど

「主体的に学習に取り組む態度（③）」：授業態度・授業中の発言・レポートの内容など

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

（2）評価規準

	知識・技能（①）	思考・判断・表現（②）	主体的に学習に取り組む態度（③）
評価規準	○地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	○地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	○地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

5 学習計画

期	単 元 名		学習のねらい（内容のまとめごと）	考查等
1 学 期	第1部	現代世界の系統地理的考察	形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 産業について、よりよい社会の実現を視野にそこのみられる課題を主体的に追究しようとする。"	中間 考 査
	第1章	自然環境		
	1節	地形		
	2節	気候		
	3節	日本の自然環境		
	4節	地球環境問題		
	第2章	資源と産業		
	1節	農林水産業		
	2節	食糧問題		
	3節	エネルギー・鉱産資源		
	4節	資源・エネルギー問題		
	5節	工業		
	6節	第3次産業		期 末 考 査
2 学 期	第3章	交通・通信と観光、貿易	交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、主題を設定し、地域のとらえ方などを多面的・多角的に考察し、表現すること。	中間 考 査
	1節	交通・通信		
	2節	観光		
	3節	貿易と経済圏		
	第4章	人口、村落・都市		
	1節	人口		
	2節	人口問題		
	3節	村落と都市		
	4節	都市・居住問題		
	第5章	生活文化、民族、宗教		
	1節	衣食住		
	2節	民族・宗教と民族問題		
	3節	国会の領域と領土問題		
	第2部	現代世界の地誌的考察		
	第1章	現代世界の地域区分		
	1節	地域区分		
	第2章	現代世界の諸地域		
	1節	中国		
	2節	韓国		
	3節	ASEAN 諸国		
	4節	インド		
	5節	西アジアと中央アジア		
	6節	北アフリカとサハラ以南アフリカ		期 末 考 査
3 学 期	7節	EU 諸国	現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野のそこのみられる課題を追求しようとする。こと。 現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結びつき、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現すること。	学 年 末 考 査
	8節	ロシア		
	9節	アメリカ		
	10節	ラテンアメリカ		
	11節	オーストラリアとニュージーランド		
	第3部	現代世界におけるこれからの日本の国土像		
	第1章	持続可能な国土像の探求		
	1節	将来の国土のあり方		
	2節	持続可能な日本の国土像の研究		